

## ★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 吉田光男 副委員長 坂地泰紀・小早川 健  
幹事 光田 航・石野亜耶 幹事補佐 高橋寛治・小川泰弘

## ★音声研究会 (SP)

専門委員長 戸田智基  
幹事 増村 亮・中鹿 亘 幹事補佐 相原 龍・齋藤大輔

日時 11月29日(火) 9:45~16:25  
30日(水) 9:30~17:00  
12月1日(木) 10:00~16:40

会場 機械振興会館 6-66 会議室 (港区芝公園3丁目5-8 <http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html> 光田 航  
(NTT) TEL [046] 859-2687)

議題 第24回音声言語及び第9回自然言語処理シンポジウム

29日午前 Web 応用 (10:00~12:00)

NLC-1. Link Prediction from Text Content by NLP Graph Embedding—A Study on Chinese Journal Articles—

Tzu-Ying Yang・〇Hsuan Lei Shao・Chih-Chuan Fan・Wei-Hsin Wang (National Taiwan Normal Univ.)

2. 絵文字予測を感情分析の補助タスクとしたマルチタスク学習手法 〇浅野晴暉・松原雅文 (岩手県立大)

3. メールにおける送信者署名の抽出 〇藤田正悟・高橋寛治 (Sansan)

4. Sentence-BERT を用いたシラバスに基づく授業科目のクラスタリングと推薦 鈴木大助 (北陸大)

29日午後 招待講演 (言語) (13:30~14:15)

5. [招待講演] ドメイン言語処理でいかに戦うか: 医療言語処理の現在 荒牧英治 (NAIST)

音声認識(1) (14:35~16:25)

SP-6. Density Ratio Approach に基づく複数 Encoder-Decoder 音声認識モデル統合手法

〇北條圭悟・森 大輝・若林佑幸 (豊橋技科大)・小川厚徳 (NTT)・北岡教英 (豊橋技科大)

7. 混合ガウスモデルと特徴欠損理論に基づく短時間発話からの話者認識 〇今西 諒・川端 豪 (関西学院大)

8. 内容語保存機構を備えた変分自己符号化器に基づくテキスト発話スタイル変換

〇吉岡大貴・安田裕介 (名大)・松永悟行・大谷大和 (エーアイ)・戸田智基 (名大)

9. 二項事後分布に基づく N-gram 言語モデルにおける継承係数の文脈依存性の検討

〇込山航大・川端 豪 (関西学院大)

30日午前 対話 (9:30~11:30)

NLC-1. 雑談における機械翻訳を用いた主語の補完による話者情報の検出

〇連 慎治・伊藤敏彦・荒木健治 (北大)

NLC-2. 放送メタデータとユーザー生成テキストの照合のための時刻情報の扱い

〇小早川 健 (NHK)・榊 剛史 (ホットリンク/東大)・大知正直・坂田一郎 (東大)

NLC-3. 前後文脈を用いた対話文の言い淀み検出 〇中島寛人・嶋田和孝 (九工大)

4. 前後の発話を文脈として考慮するニューラル音声認識誤り訂正

〇中村朝陽・李 聖民・田村鴻希・吉永直樹 (東大)

30日午後 国際会議参加報告 (音声, 言語) (12:30~13:50)

5. 国際会議 INTERSPEECH2022 参加報告(1) 佐藤 宏 (NTT)

6. 国際会議 INTERSPEECH2022 参加報告(2) 齋藤佑樹 (東大)

7. 国際会議 COLING2022 参加報告 庵 愛 (NTT)

8. 国際会議 AACL-IJCNLP2022 参加報告 石原祥太郎 (日本経済新聞社)

招待講演 (音声(1)) (14:10~15:10)

9. [招待講演] 雑音残響下での音声のブラインド音源分離 荒木章子 (NTT)

特別セッション (音声と言語の分野横断) (15:30~17:00)

SP-10. 音声合成と音声認識に対するテキストデータを用いた半教師あり統合学習

〇牧島直輝・鈴木聡志・安藤厚志・増村 亮 (NTT)

SP-11. 「どう言ったか」を「何を言ったか」へ—焦点を含んだ発話と、その含意を反映したテキストを含む英語コーパス— 〇鱈 尚晃・中村 哲 (奈良先端大)

12. 声を含むデータベースの「使いやすさ」に関する一考察—No.7 音声・歌唱データベース構築を実例として— 森勢将雅 (明大)

1日午前 深層学習 (10:00~12:00)

1. 日本語 PromptBERT におけるプロンプトベース対照学習の有効性とプロンプトの性質の調査

○芝山直希（茨城大）・古宮嘉那子（東京農工大）・新納浩幸（茨城大）

2. 言語モデルの第二言語獲得効率

○大羽未悠（NAIST）・栗林樹生（東北大/Langsmith）・大内啓樹（NAIST/理研）・渡辺太郎（NAIST）

3. 距離学習を活用した長文要約のための Content Selection ○加茂 司・杉本 徹（芝浦工大）

4. Explainable Natural Language Inference in the Legal Domain via Text Generation

○Choi Jungmin（NAIST）・Honda Ukyo（NAIST/CyberAgent）・Watanabe Taro（NAIST）・Inui Kentaro（Tohoku Univ./RIKEN）

1 日午後 招待講演（音声（2））（13：30～14：30）

5. [招待講演] 半世紀以上も音声・聴覚を研究しているのか！—想定外が面白い— 河原英紀（和歌山大）

音声認識（2）（14：50～16：20）

SP-6. A Japanese ASR System on the Next-Gen Kaldi Framework

○Wen Shen Teo・Yasuhiro Minami（UEC）

SP-7. Domain and language adaptation of large-scale pretrained model for speech recognition of low-resource language

○Kak Soky（Kyoto Univ.）・Sheng Li（NICT）・Chenhui Chu・Tatsuya Kawahara（Kyoto Univ.）

SP-8. 大規模音声データのみ獲得できる環境下への音声認識モデルのドメイン適応

○木内貴浩・森 大輝（豊橋技科大）・小川厚徳（NTT）・北岡教英（豊橋技科大）

◆情報処理学会；自然言語処理研究会／音声言語情報処理研究会連催。IEEE Signal Processing Society Kansai Chapter, IEEE Signal Processing Society Sendai Chapter, IEEE Signal Processing Society Tokyo Chapter, APSIPA Japan Chapter 協賛

☆NLC 研究会

【問合先】

E-mail：nl-sympo@googlegroups.com

☆SP 研究会

【問合先】

E-mail：nl-sympo@googlegroups.com